

『一生懸命』幻の新座市議会報告第145弾!



たかむらともや

2017年3月31日発行

PTA弱者2

いよいよ新学期が始まります。小中学生のお母さん達は最初の保護者会でPTAの「役員」決めや「一人一役」決めて神経を使うことでしょう。

大丈夫です。辛かったら、PTAに入らなければいいのです。実際、僕は入っていません。

入会届がある学校なら、勿論断ればいいし、入会届がないようなPTAだったら、違法に近いのですから、役員決めの用紙に入りませんと書けばいいのです。PTAをやらないと子どもの内申が悪くなるなんていうのは、全くあり得ない話ですし、「改正個人情報保護法」が5月に施行されると、学校が持っている情報を本人に断らずにPTAに流すことができなくなります。「入会します!」という意思表示をしていないのに、本人に断りもなくその情報がPTAに渡るとは法律違反になるのです。

「勿論、お仕事が優先です」

「会費を払ってくれるだけの参加もありです」

「事情がある人はどうぞ言ってくださいね。ボランティア団体ですから」

「出られないときは連絡してくれればいいですよ」

「出来るときに、出来る人が、出来ることをやればいいんです」

これがボランティアの姿ですし、PTA本来の姿な筈です。写真はPTA問題で金子教育長と議論しているところです。教育長はハッキリと「PTAへの加入は任意です」と答弁しています。教育長の言葉を信じて、安心して対応してください。



27mの保谷・朝霞線が出来たら、五中の校庭が削られ、地域が分断され、市内に1日47500台の車が流入します。本当にいらない道路です!

たかやんのプロフィール



昭和29年年2月11日、港区青山生まれ。新宿区立西戸山中学校、都立石神井高校卒。北海道大3年の時に、突然教師を目指しはじめ、五中の教師になる。小学校時代のあだ名は「たか」

超悪ガキで、成績も悪かったが、小さい頃から弱いもの苛めだけはしたことがない。

今のあだ名は「たかやん」(そう呼んでくださいね)

写真は控え室での自撮りです。ツルピカや!!

市議会では「税收増」を叫び、同時進行で大型事業を進めていく市の方針に警鐘を鳴らし続けている。

「教育は愛だ!」を掲げて駅に立っている。嘗ては埼玉県でトップであった新座市の子どもたちの学力が低下していることを心配しながら、今も小中学生と一緒に「たかやん塾」で学ぶことに燃えている。

最近は「アドラーの心理学」にはまり、五中・六中・二中時代の自分を反省している。

「弱いもの苛め」「虎の威を借る狐」が嫌いである。あの法務大臣にあの防衛大臣。あの総理大臣。自民党の政治家の質が劣化していると感じている。

たかやんの応援団 で 検索

たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

③ 町内会への補助金問題 その2

NO	町内会名	平成27年				平成29年	
		町内会が配布したとする広報の配布数	町内会が市に届けた加入世帯数(H27.1.1)	総世帯数(市発表)H26.12.1	総会の決算資料の中に世帯数があるものに○	町内会が市に届けた加入世帯数(H29.1.1)	総世帯数(市発表)H28.12.1
1	栄3丁目	700	566	898	○566	562	901
2	栄5丁目	1100	900	1182	○773	731	1195
3	池田	1000	960	1288	○952	940	1347
4	栗原1丁目	1180	1180	1394	○1160	1088	1463
5	栗原4丁目	700	700	916	○700	562	945
6	野寺	2769	2730	4189	なし	2471	4301
7	菅沢	538	506	684	なし	493	682
8	新堀2丁目	1560	1250	1800	なし	1216	1865
9	東北2丁目	1583	1500	2776	○1380	1342	2767
10	東3丁目	985	980	1193	○900	987	1244

上の表は144弾！の続きです。須田前市長が答弁した「市の広報を全戸配布していない町内会」の一部です。要するに「町内会に入らないと広報は読めない！」という市長の言う通りにしていた町内会の一部です。逆に言うと、町内会の世帯数以上配る必要はないのですから、世帯数と配布数が同じで当たり前ですよ。（廃棄した分まで30円はおかしい）

ここでも気になるのはやはり決算資料に世帯数がない町内会です。（市の調査結果）

世帯数が掲載されていても、配布数と大きく違えば、その補助金はどこへ行ったの？全市民の税金が町内会だけに無駄に行っちゃっていい訳がありません。集会所の利用も同じです。我々全市民の税金で建設した集会所に全市民の税金が年間、管理費として町内会に25万円支払われています。

その上、町内会が優先的に利用できるのですからおかしな話です。PTA弱者と同じように、町内会弱者の声もよく聞きます。体が不自由なのにゴミ当番がきつい。高齢なのに、集金に何度も行かされる。仕事があるので役員をやるのが大変だ。町内会長がずっと同じ人だ。そんな声も聞こえてきます。辞めたらゴミ捨て場を使わせない。避難用の食糧はやらない。そうやって脅かされた人もいますのですから驚きです。誰にも優しい町内会であって欲しいです。

③ 待機児童ゼロ

今回の一般質問で公立の保育園を建設すべきだ！と主張しました。市長の答えは「公立だと国の補助金が貰えないので、全てが市の負担になってしまう。」「財政難だから無理」というものでした。保育園の建設費は大体3億とされています。来る当てのない地下鉄12号線に基金として5億円積み立てる議案に反対したのは「市民と語る会」と「共産党」だけでした。「待機児童ゼロ」よりも地下鉄や区画整理事業が優先の人が多すぎます。

税金増の為の区画整理といいますが、待機児童は待ってくれません。税金を増やしても、そのお金を保育や教育の質を高めることに使うことが大切だと僕は思っています。「待機児童ゼロ」を叫んだ人達が今年度だけで約60億の大和田二・三丁目区画整理に賛成したり、建設費が100億もかかる北口区画整理事業に賛成したりしているのですから、困ったものです。

その煽りで、財政難になり新庁舎の第二期工事は見直しとなりました。新庁舎にレストランはなく、コンビニもありません。33年度に改めて考えるそうですが、そのときも「財政難」でないことを祈ります。いくら祈っても、待機児童がゼロになることは、当分の間ないということになるのですが……。

読み終わりましたら、お知り合いの方にさしあげてください m(_ _)m